

令和2年

目黒区教育委員会

第3回定例会会議録

(令和2年1月21日開催)

第3回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和2年1月21日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	櫻井道雄
	教育委員会委員	後藤幸子
	教育委員会委員	笹尾敦夫
	教育委員会委員	松村真理子

出席職員	教育次長	秋丸俊彦
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井司
	学校ICT課長	今村茂範
	学校運営課長	濱下正樹
	学校施設計画課長	鹿戸健太
	教育指導課長	竹花仁志
	教育支援課長	酒井宏
	統括指導主事	寺尾千英
	統括指導主事	片山順也
	生涯学習課長	千葉富美子
	八雲中央図書館長	増田武

書記		小野塚幸隆
		森高健二郎

(議事日程)

日程第1	報告事項	令和元年度小・中学校卒業式祝辞について
日程第2	報告事項	目黒区特別支援教育推進計画(第四次)改定案(案)について
日程第3	報告事項	令和2年度めぐろシティカレッジについて
日程第4	報告事項	目黒区文化財保護審議会からの答申について
日程第5	報告事項	教育委員会名義の使用承認状況について
日程第6	報告事項	学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について
日程第7	報告事項	インフルエンザ等による学級閉鎖等の状況について

(午前10時30分開会)

○教育長 令和2年第3回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、松村委員です。

ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、傍聴を許可することといたします。
なお、以後の傍聴の申請はその都度許可することとし、委員の皆さんにはお伝えすることはいたしません。

それでは、日程第1を議題といたします。

(日程第1 令和元年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はありませんか。

○委員 中学校の文案ですけれども、チームに外国籍の方が在籍していることが記載されていません。子どもたちは皆知っていることだと思いますが、この文案だけ読むと、日本代表の選手に外国籍の方がいるか分からないので、多くの国の選手が属するなどの文言を加えた方がよいと思いました。

また、結びの⑧に、保護者の皆様、地域の皆様に加えて目黒区議会と記載されていますが、これは毎年度入れているのでしょうか。

○説明員 中学校の文案の⑤についてのご質疑いただいた点ですが、④の1行目に「日本だけではなく、多くの国から集まった選手達が」と記載しております。

また、結びの⑧につきましては、目黒区議会についても毎年度記載しているところでございます。

○委員 文案を見ましたが、小学校のものと、文字数の制限があると思いますが、ラグビーというスポーツの特色が見えづらいです。もう少しラグビーについての記載があってもよいと思いました。例えば、「ONE TEAM」は、ラグビーに限ったことではな

く、どのスポーツでも共通するテーマだと思います。それよりは、ラグビーという厳しいスポーツの素晴らしさを表現するためには、「スクラム」や「トライ」という文言を加えたいと思いました。

特に本来はスクラムを組むフォワードの選手が、ボールをつないでトライをしたということの素晴らしさを短い言葉で小学校と中学校の祝辞に組み込みたいと思いました。

そのため、文案の表現をより簡潔なものにしてはいかがでしょうか。特に中学校の文案ですけれども、③のところで「多様な他者」という表現がありますが、文章で読む分には問題ありませんが、口頭では聞き取りづらいと思います。

また、その下に「乗り越える」という表現と「道が切り拓ける」という表現がありますが、重複していますので、まとめてよいと思います。

また、④で「多くの国から集まった選手達」という記述についてですが、例えば南アフリカ出身の選手やフィジー出身の選手など、具体的な出身地を加えると子どもたちの理解につながるのではないかと思います。

全体の構成はよいと思いますが、より印象に残る形にしてもらいたいです。これらは要望です。

○委員 小学校の文案の⑩で「冷静に試合を進める日本人選手と、最初から積極的に攻める外国人選手」と記載されていますが、日本人と外国人でプレーの仕方が異なる根拠は何かあるのでしょうか。もしこの違いが事実であれば、日本の文化を学ぶことだけで「ONE TEAM」となるのは難しいのではないのでしょうか。

○説明員 この記載についてですが、ラグビー雑誌の選手やコーチのインタビューを事務局で要約したものになります。

○委員 そのインタビューのとおりだとすると、日本人選手と外国人選手には大きな姿勢の違いがあると思います。インタビューでは、選手やコーチはどうやって違いを乗り越えてきたのかという記載はありましたか。

○説明員 インタビューには違いについての記述も多少ございましたが、それについてはこの祝辞には記載せず、このような形にまとめさせていただきました。

○委員 私も委員と同様に、「冷静に試合を進める日本人選手と、最初から積極的に攻める外国人選手」という記載の根拠が気になりました。選手が言った言葉であれば、選手が言ったという記述を加

えた方がよいのではないのでしょうか。

また、小学校の文案の⑤で、「さらにチームとしてのまとまりを」という記述に違和感を覚えたので、日本代表としての意識を高めるために、選手たちは日本の歴史を学んだという表記を加えてもよいと思いました。一方で、⑤の「選手たちは日本の歴史や俳句を学び、日本の心を文化から感じ取ることで日本代表としての意識を高めてきました」については省略して短くするのもよいと思いました。

また、小学校の文案で、20行目に「中学校生活でも「ONE TEAM」となり」という表記がありますが、何が「ONE TEAM」となるのか不明確なので、より明確に記載すべきだと思います。

また、小学校も中学校も共通なんですが、「日本代表」の読み方はニホン代表ですか、それともニッポン代表ですか。

また、中学校の文案の10行目についてですが、「互いに納得するまで話し合い」というところは、平凡な取組なので、より印象的な取組があればよいと思いました。

最後に、中学校の文案を短くするなら、⑥の文章を削除してしまってもよいと思います。学校生活での様々な体験に基づいた成長という面を入れたい気持ちもわかりますが、⑥の文章がなくても問題ないと思いました。

○説明員

現在、ニホンとニッポンの読み方につきましては、公式に定められたものはございません。今回の祝辞における読み方でございますが、平成15年の調査によりますと、ニホンと読む人が61%、ニッポンと読む人が37%であること、若い人ほどニホンと読む傾向があることから、この祝辞ではニホンの読み方で統一したいと考えてございます。

また、小学校の文案の20行目の「中学校生活でも「ONE TEAM」となり」という表記を明確にすることについても、ご指摘の点を踏まえて検討させていただきます。

また、小学校の文案を修正するご指摘や中学校の文案を省略するご指摘についても検討させていただきます。

○委員

委員のご指摘のとおり、中学校の文案の10行目の「互いに納得するまで話し合い」というところは、標準的な取組であり、印象に残らないと私も思います。ですので、例えば小学校の文案の14行目には、「史上初のベストエイト進出という素晴らしい結

果につながった」という記述があります。この記述を中学校の祝辞の冒頭に組み込めば、印象に残る文章になると思います。

また、ラグビーというスポーツであることを表現するために、「スクラム」や「トライ」という言葉を用いて成果を示し、その成果を挙げたのは、チームとしてのまとまりを高めるために、大変な努力をしたという構成にすれば、より印象に残る文章にできるのではないかと思いますので、ご検討よろしく申し上げます。

○教育長 小学校の祝辞については、先ほど委員からもご指摘がありましたとおり、9行目から10行目にかけての日本人選手と外国人選手の記載が典型的であるという印象を受けました。

また、小学校と中学校両方の祝辞を聞く子どもはいませんが、小学校と中学校の祝辞に違いが感じられないと思いました。

小学校の祝辞は、スポーツを題材に、皆で努力して団結して、困難に打ち勝っていくという流れで、わかりやすくよいと思うのですが、中学校の祝辞については、例えば、多様性のある社会で生きていくことを主題とし、その例として、このラグビー・ワールドカップの日本代表の話を展開するという構成もよいのではないかと思います。

今回、各委員の皆様から、それぞれご要望が出ましたので、それを踏まえて、来週もう一度出していきたいと思います。

○教育長 その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第2を議題とします。

(日程第2 目黒区特別支援教育推進計画(第四次)改定案(案)について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 特別支援学級での教育は、大切なものだと思います。特に就園・就学前の教育相談は、重要なものだと思います。

別紙1の8ページの現行計画に掲げている推進施策6に、「就学前からの教育相談体制等の充実」についての記載があり、成果と今後の課題に、就学相談については、幼稚園・こども園・保育所等で、保護者向けに就学情報を提供するなど、さらに充実させていく必要があると記載されていますが、11ページのイメージ

図によると、どこで就学相談を行うのか分からないので、教えてくださいいただけますか。

○説明員 委員のお尋ねにつきましては、別紙1の25ページの「取組の方向Ⅲ保護者や関係機関等との連携による支援体制の充実」で記載してございます。別紙1の25ページと26ページをお開きください。

推進施策6「早期からの連携による支援体制の充実」の「(2) 公私立の幼稚園・こども園・保育所等との連携による支援の充実」では、実施策として、平成28年度から公私立の幼稚園・こども園・保育所等で行っている学校就学前ガイダンス、就学相談員派遣による就学相談情報の提供、区立幼稚園・こども園保護者会等への教育相談員の派遣について記載しております。

次の「(3) 保護者への早期からの就学情報提供と就学相談の充実」は、これまでも行っております保護者への早期からの就学情報提供と就学相談を充実させていくというものでございます。

最後の「(4) 児童発達支援センター等との連携による支援の充実」では、児童発達支援センターであるすくすくのびのび園と連携をして、小学校就学前からの相談体制を、さらに充実させていくことを掲げております。

○委員 保護者からすると、子どもが幼稚園に上がる時は、不安だと思います。それについて相談できる窓口は、どこにあるのでしょうか。児童発達支援センターに行けば、いつでも相談に乗ってもらえるような状態なのでしょうか。

○説明員 健康福祉部での児童発達支援に関しては、児童発達支援センターが相談窓口であり、教育委員会では、めぐろ学校サポートセンターの教育相談が相談窓口でございます。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 令和2年度めぐろシティカレッジについて(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 目黒区文化財保護審議会からの答申について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第5を議題とします。

(日程第5 教育委員会名義の使用承認状況について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第6を議題とします。

(日程第6 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第7を議題とします。

(日程第7 インフルエンザ等による学級閉鎖等の状況について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。

○教育長 その他なにかございますか。
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前11時35分閉会)